

演題名	削減の極み2		
施設名	ライフサポートひなた	ふりがな 発表者(職種)	ささや りくと 笹谷 陸人 (理学療法士)
ふりがな チーム名	ひなたさくげんぶたい ひなた削減部隊		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組み種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	昨今の光熱費や物価の高騰により電気、水道、消耗品の使用金額が2023年と比較して上がっている。そこで各部署で何かできることはないか考えそれぞれの部署で対策を講じることでou teamにて筋肉質な経営を目指すことが光熱費や消耗品費用の削減にも繋がるのではないかと考えた		
改善の指標と その目標値	(指 標) 電気・水道・消耗品の使用金額 (目標値) 前年度の同月対象月と比較して金額の削減を目指す 電気＝5% 水道＝3% 消耗品＝10%		
実施した対策	1.LED電気の導入 2.食洗器の見直し 3.入浴日の調整 4.清拭タオルの見直し 5.お茶の見直し 6.メルタスの導入		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 2024年3～5月 平均使用金額 ・電気 2,848,327円 ・水道 1,667,505円 ・消耗品 487,000円 (実施後) 2025年3～5月 平均使用金額 ・電気 2,349,484円 ・水道 1,588,392円 ・消耗品 356,000円 (4,9800円 17.5%減) (79,000円 4.7%減) (131,000円 26.9%減)		
歯止めと 標準化	標準化: 毎月のフロア会議にてADLに合わせた入浴形態の検討 管理: 6月と11月にラインワークスの職員掲示板にて水光熱費用と使用量の共有 教育: 新入職員にフロアリーダーが2週間以内に適切なADL把握に向けたOJTの実施		
活動の種類 ※複数選択可	②複数の職場が連携した活動 ④組織全体で取り組んだ活動 ⑤その他	チーム メンバー (職種)	1 川本 裕幸 介護福祉士 2 曲田 利恵 介護福祉士 3 山内 京子 看護師 4 柳澤 諭 理学療法士 5 笹谷 陸人 理学療法士 6 石原 隆行 調理師 7 大塚 悦子 事務職員 8 吉川 壮一 介護支援専門員
活動の場 ※複数選択可	②支援部門 ③管理部門		
活動期間	2024年11月 ～ 2025年5月		
リーダー名 (職種)	川本 裕幸 (介護福祉士)		
活動回数	7	回	

テーマ選定

◎5点○3点▲1点

	重要性	緊急性	実現可能性	効果期待性	測定可能性	評価点
水光熱費	◎	◎	○	○	◎	21
消耗品費	○	○	○	○	◎	17
残業時間	○	▲	▲	○	◎	13
医療用品費	○	○	▲	○	○	13
食材費	▲	◎	▲	▲	○	11

活動計画

計画

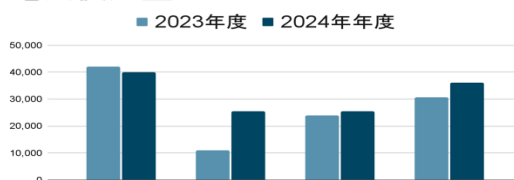
実行

内容	担当	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
テーマ選定	川本							
現状把握	大塚							
目標設定	山内							
要因分析	石原							
対策立案	曲田							
対策実施	笹谷							
効果確認	大塚							
標準化	川本							
まとめ	柳澤							

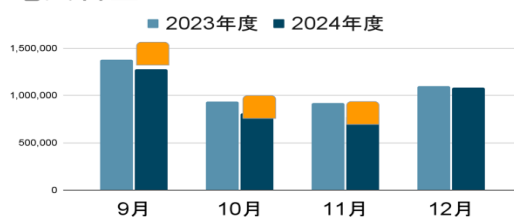
現状把握①

電気使用量は増加傾向。
補助金（163千円）で

電気使用量



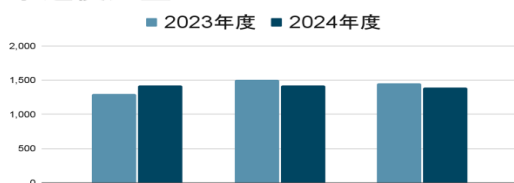
電気料金



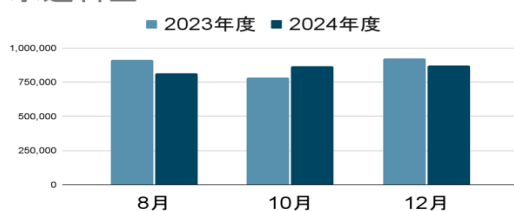
現状把握②

使用量と料金にばらつき。
過去、LSひなたのTQMに
おいて、水道使用量の取り
組みがない。

水道使用量



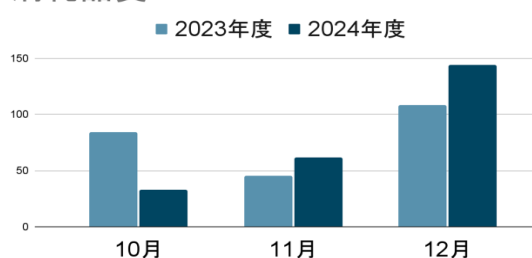
水道料金



現状把握③

消耗品費が増加傾向。
施策実現性の高いタオル、
お茶、印刷用紙に着目

消耗品費



目標設定

1,電気使用量・料金

● 3～5月 前年比**-5%**

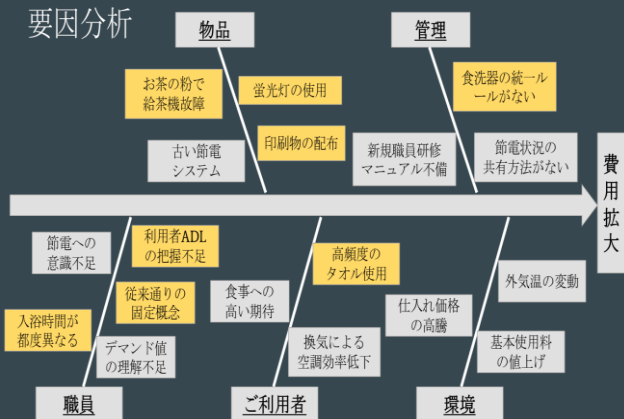
2,水道使用量・料金

● 2～5月 前年比**-3%**

3,消耗品費

● 3～5月 前年比**-10%**

要因分析



対策立案

1,LED電球の導入

- ・フロア内の全ての電球をLEDに交換
- ・職員による交換で作業費の抑制

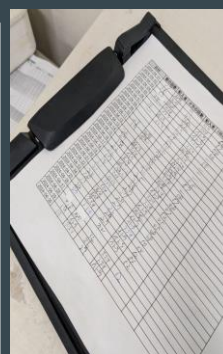


対策立案

2,食洗器の見直し

- ・現状の把握と頻度や時間の見直し
- ・マニュアルの作成

・1回6.9w
・薪→タの流れ
①調理器具洗浄
②食器洗浄の各2回の計6回
③それ以外におやつ洗浄1回



対策立案

3,入浴の調整

- ・入所者のADL見直しから、大浴場の使用頻度を週4回⇒2回に削減
- ・湯を張る時間の統一、温度維持のコスト削減
- ・朝8:30～お湯張りで統一



対策立案③

4,清拭タオルの見直し

- ・通常のレンタルタオルから、使い捨てのディスポタオルへ変更
- ・タオル準備を簡略化
- ・清潔感や衛生面に配慮



対策立案④

5,お茶の見直し

- ・給茶機の使用法を、粉からバックへ変更
- ・発注単価49.8円→12.7円に改善
- ・利用者様より「美味しくなった。」と好評



対策立案⑤

6,メルタスの導入

- ・ご家族とオンライン上での情報共有により、入所、通所、訪問の配布物のペーパーレス化。

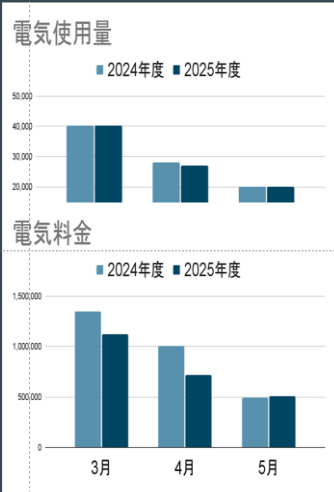
5月までに75名(39.7%)の利用。

利用状況(6/2調べ)
通所 25/83名
入所 43/55名
訪問 7/63名
全体の39.7%(75/201名)



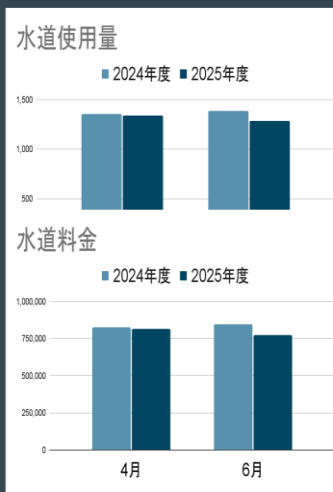
効果確認①

3か月平均
175%（498千円）の改善



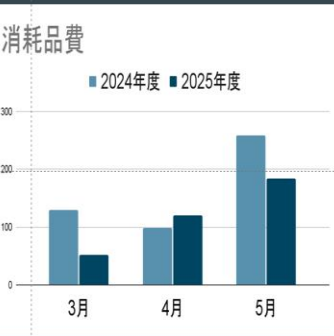
効果確認②

4か月平均
4.7%（79千円）の改善



効果確認③

3か月平均
26.9%（131千円）の改善



効果確認④

1,電気使用量・料金	● 3～5月	前年比-5%	-17.5%
2,水道使用量・料金	● 2～5月	前年比-3%	-4.7%
3,消耗品費	● 3～5月	前年比-10%	-26.9%

波及効果・無形効果

	波及効果	無形効果
LED	安定した照明の明るさで、異変や異物に気づきやすくなった	職員から休憩室が明るい雰囲気になったと声があった
食洗器	使用頻度低下が故障リスクの低下	マニュアル見直しを再度図る意識が職員に生じる
入浴方法	入浴業務の効率化	介護職員間で、ご利用者のADL変更への連携を強化している
清拭タオル	保管スペースの削減	ご利用者から衛生的で良いとの声
お茶	粉詰まりの給茶機故障のリスク低下	ご利用者のお茶への満足度が向上
メルタス	請求業務、配布作業の効率化	ICT活用への職員の抵抗感の低下

標準化と管理の定着

	何を	なぜ	誰が	いつまでに	どこで	どの様に
標準化	入浴方法の統一	効率的	入所介護	毎週	浴室	実践
標準化	ADLに合わせた入浴形態	安全性 自立支援	入所部門	毎月	フロア会議	口頭と再評価
教育	新規職員への研修	適切なADLの把握	フロアリーダー	入職後2週間以内	フロア内	OJT
管理	水光熱費と使用量の共有	節電意識の風化予防	TQMのメンバー	6月と11月	LineWorks	職員掲示板で発信

反省と今後の課題

	反省点	今後の進め方
テーマ選定	偏ったメンバーでの選定	多くの職員の声を拾う仕組み化
現状把握	過去の実績把握に時間がかかった	経理部との密な連携
要因分析	多角的な視点が足りなかった	ChatGPTなど生成AIを活用していく
対策立案・実施	他部門への巻き込みが足りなかった	タイムリーに効果の見える化を図る
効果の確認	目標を高くしても良かった	今回の結果を基準に次回へ活かす
標準化	研修担当職員がTQMメンバーに偏る	多くの職員に現場OJTを通じて当事者意識をもってもらう

ご清聴ありがとうございました。

